



議会だより

あさひむら



今日から小学生、頼もしく輝いています

希望と期待に胸を膨らませ入学式を迎えられた新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。木々の芽や小鳥たちも皆一斉に活動を始めました。小学校生活は教科学習に加え社会生活の基礎を学ぶ大切な時期です。事故や健康に気を付け、楽しく有意義な6年間を過ごしましょう。

もくじ

- ・ 3月定例会 2・3
- ・ 新人議員紹介・行政視察・委員会報告 4
- ・ 一般質問 村政を問う 5～9
- ・ 特集 議会モニター 10・11
- ・ 議員活動日誌 11
- ・ 村民の声・ちょこっと訪問・編集後記 12

●「議会だより」第44号
発行日/2022年4月28日
発行/朝日村議会
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555-1
TEL.0263-99-2001(代)
FAX.0263-99-2745
Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp
印刷/川越印刷株式会社

令和4年度
一般会計

小学校給食費無償化等の子育て支援対策、DX推進事業など

総額33億2,800万円

(前年比29.1%増額)の一般会計予算

3月 定例会

3/8 ~ 18

3月定例会は、3月8日(火)から3月18日(金)までの11日間で開催された。今議会では令和3年度補正予算と令和4年度の当初予算の審議が行われた。自治体DX推進事業、防災センター建設事業、給食費無償化、高校生通学支援事業等新年度予算総額は33億2,800万円で前年比7億5,100万円の増額となった。議会は18日最終日、村提出の全議案を原案どおり可決して閉会した。



予 算……………14件	：	条 例……………24件
(令和3年度補正予算)	：	専 決……………3件
(令和4年度当初予算)	：	その他……………3件

発議第1号

ロシアによるウクライナ侵略を強く非難し、即時撤退を求める決議

ロシアの侵略行為は、明らかに国連憲章と国際法への重大な違反行為であり、世界平和を脅かす許すことができない犯罪行為であり、核兵器使用を示唆する発言や、原子力発電施設の攻撃などは唯一の被爆国として、また、国の重要拠点「東京電力新信濃変電所」がおかれている村として断じて容認できないとし、ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、即時完全撤退を強く求める決議案を全会一致で可決した。

人事案件

(教育長任命に同意)

教育長 百瀬 司郎氏
(再任)

【任期】
令和4年4月1日から
令和7年3月31日まで

当初予算協議 全員協議 当全質

令和4年度は健全財政を維持しつつも、村は徐々にインフラ施設の更新、子育て支援対策等を重点に取り組む方針を示した。

令和4年度当初予算

※主なものを掲載

自治体DX推進事業

1,150万円

問 DXのプロジェクトマネージャーの募集は。

答 今月中に募集をかける予定。デジタルに強い、システムに強い人。住民を巻き込んだ活動ができる人を。

要望 村の活性化につながる人を。

問 税証明等のコンビニ交付の運用は。

答 所得証明のみ。令和5年1月から開始。

防災センター建設事業

1,900万円

要望 平時の利用は地域で使用する施設として使いやすく。基本設計ができた段階で地元の建設委員へ説明を。

拠点避難地整備事業(旧役場庁舎跡地)

5,300万円

問 旧第5分団詰所の取壊しはいつの予定か。

答 できるだけ早い時期に。

新エネルギー普及促進事業・省エネ家電製品普及促進事業

235万円

要望 新エネ補助既に取り組んでいるところへの救済措置はあるのか。制度の検討を。

問 ゴミの資源化具体的にとどのようなことを考えているのか。分別をさらに強化するのか。

答 現行を維持し、徹底していく。

松くい虫対策事業

2,400万円

問 現在、伐倒燻蒸が必要な赤松は。

答 令和3年度確認されたものは約100本。現在対応中。

消費喚起による地域経済活性化事業（地域活性化商品券）
4,800万円

問 今までの商品券の消費動向は。

答 ある程度決まった業種に利用される傾向。地域活性化の点からも今後も継続。

小学校給食費無償化事業

1,159万円

問 提案に至った経緯。

答 保護者の負担軽減、村の独自性のある子育て支援ということから検討。子どもの給食費を保護者が負担するのは当然という声がある一方、年間約5万5千円の給食費が保護者にとって負担になっている部分もある。県内の町村でも無償化に踏みきっているところもある。若い世代の移住定住に結び付けたい。

高校生通学支援事業

500万円

問 5月1日以降何らかの事情で退学した場合であっても返還は求めないということでありますが、補助制度としていかがか。

答 年度の早い段階で、補助金の有効活用になると考える。

議案第32号

令和4年度朝日村一般会計予算に対する附帯決議案

村は当初予算に、小学生を持つ保護者へ「小学校の給食無償化」、高校生を持つ家庭へ「通学費の補助」を重要施策と位置付け新規事業として当初予算に盛った。

議会では最終日この事業を含む当初予算を全会一致で可決したが、羽多野議員から「村の財政負担を考え慎重な執行が必要」との附帯決議案が提出された。賛成議論として「継続して熟議が必要ではないか」、反対議論として「附帯決議案ではなく議決前に議論すべきこと」が出され、表決の結果反対多数で附帯決議案は否決された。

※議案第32号 令和4年度朝日村一般会計予算に対する
付帯決議案全文は朝日村ホームページよりご覧いただけます。



附帯決議案の提案説明

附帯決議とは？

可決された案件に対し、事務事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもの。



議案第32号 附帯決議案	議員名及び賛否 ○賛成 ×反対								
	羽多野美映	高橋良二	清沢正毅	高橋廣美	林邦宏	中村文映	齊藤勝則	小林弘之	塩原智恵美
	○	×	×	×	○	×	×	×	○

補正予算 1億6,950万円を追加 令和3年度一般会計 総額33億4,000万円



補正の主なものとして歳入は、昨年12月の国の補正予算により追加交付となった普通交付税など地方交付税の増額、歳出は国の補正予算によるデジタル社会形成整備事業や決算見込精査による財政調整基金への積立などが計上された。

歳入	村 税	3,596万円
	地方交付税	1億5,875万円
歳出	財政調整基金積立金	3億809万円
	転出転入手続きワンストップ化システム改修事業	273万円

新人議員紹介



小林 弘之

この程、2月20日の朝日村議会補欠選挙で議員となりました小野沢の小林弘之、63歳で御座います。

経歴:信州工業高等学校卒、野球部OB・元朝日村消防団長・元松本消防協会副会長・セイコーエプソン(株)退職

学生野球で培った精神力と消防団活動、企業で培った経験を活かし「元気で安心の朝日」を創る為に頑張っていく覚悟で御座います。宜しくお願ひ致します。



羽多野 美映

村議会補欠選挙を経て議員になりました。新人議員研修では2日間行政の仕組み等について説明を受け、3月の定例議会へ突入。学ばなければならない知識や事柄は多いですが、村民のみなさまの「負託」にこたえるのが議員である私どもの使命である…と言う自覚をしっかりと持ち、当初の気持ちを忘れずに取り組んでいきます。



タジマテレワークセンター行政視察

去る3月18日(金) 全員協議会終了後、タジマテレワークセンター施設名「里山のオフィス」を行政視察しました。豊かな自然環境と長閑な農村環境という静かなロケーションと近隣市村などの市街地へのアクセスの良さ、自然環境と暮らしのバランスがとれた特徴を活かした施設。また内装は朝日村ならではの木材を使用、日本家屋の特徴を活かし自然の中で癒しを得ながら個人、家族、在宅勤務、企業等のテレワークができる施設に感動いたしました。

利用方法として、テレワーク・会議・セミナー・移住体験イベント・キッチンスペースイベント等々、多くの活用方法があり施設利用料金も格安です。是非、みなさんもお出掛けしてみてください。近年にない素晴らしい施設だと思います。

(小林弘之)

3月定例会常任委員会報告

総務産業委員会報告

本年度3月定例議会には、当委員会に付託された請願・陳情の審査はなく、委員会では所轄事務の調査を行う事とした。

3月11日、産業振興課長と商工観光係長から「朝日村観光ビジョン」と観光協会の目指す事業について解説していただきながらの意見交換となった。村は一般的な文化資産や風光明媚な景観箇所が乏しく、またキャンプ場やスキー場への来場者との交流の場が得られていない現状など、色々な課題を抱えている。

コロナ禍で働き方改革や移住などに関心が寄せられている中での観光行政は、関連施設・関係者が、点から線へと体制変身する行動力、そして企画力が求められます。

総務産業委員会委員長 林 邦宏

社会文教委員会報告

ゼロカーボン及び公民館アンケート

担当課から策定中の『ゼロカーボンビジョン』の説明や小学校での生ごみ処理の取組、蓄電池の補助金の説明を受けた。委員からは村民の理解が進むよう説明会開催の要望や、ウッドチップー利用に当たり軽トラ貸出しの検討要望が出た。

また、「公民館事業アンケート」受け、教育委員会から『村主催事業の見直しで分館役員の負担軽減を図り、分館独自事業の充実を』との方針の説明を受けた。委員からはコロナ禍ではあるが「やれる事」を探してほしい。分館活動休止地区がある中、本館の支援を問われ、教育長から「最初の働き掛けは大事」と分館への支援に前向きな回答があった。

社会文教委員会委員長 中村 文映



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。

ここが聞きたい 9議員 17項目

清沢 正毅議員 (5ページ)

- 1 村長の村政経営について
- 2 協働の村づくり推進について

高橋 廣美議員 (6ページ)

- 1 多様な農業への支援体制について
- 2 朝日村の森林資源の活用について

林 邦宏議員 (6ページ)

- 1 専決処分・大尾沢導水管仮復旧について
- 2 大尾沢水源林の公有化の進捗状況は

中村 文映議員 (7ページ)

- 1 松塩地区広域施設組合が令和 11 年建設に向けて「新ごみ処理施設基本計画」を策定中であるが、村のごみ処理についての基本方針及び取り組み姿勢について

齊藤 勝則議員 (7ページ)

- 1 役場正規職員以外の待遇改善について
- 2 高齢者の買物、乗り物の対策とJA生活なき後の対応
- 3 松枯れ対策について

小林 弘之議員 (8ページ)

- 1 医療の充実について
- 2 消防団活動について
- 3 児童の社会スポーツの振興について

塩原 智恵美議員 (8ページ)

- 1 朝日村教育行政の現状と課題

羽多野 美映議員 (9ページ)

- 1 住民への情報提供のあり方について
- 2 全村民が参加する村政を目指す投票率向上の取り組みについて

高橋 良二議員 (9ページ)

- 1 移住婚について

問 村長の選挙公約の達成率について初日の施政方針で述べられていたが、今まで3年で50%今年1年やっても70%と自己採点されているが、最終年度であれば少なくとも90%以上の達成を目指すべきであるがなぜか？

答 公約より先にやらなければならぬ緊急テーマが多すぎた。確実な成果を目指すには人物金がかかる。職員には100%以上の能力を発揮していただいているが、これ以上新たなテーマに取り組むには、まだ現状ではマンパワーが足りない事が理解できたため70%と判断した。

問 第6次総合計画は小林村政で作成されたもの。小林村長の終着点は第6次総合計画目標達成を目指すべき、その為には次期へのステップが必要と考えるが、現状での意向はいかがか？

答 今非常に厳しい時代を迎えている。またインフラの老朽化、経済情勢が一段と不透明、人口減少問題等して農業が抱えている大きな課題等



第6次総合計画から

答 今年1年頑張っって、時期が来たら考える！



清沢正毅 議員

村長の次期への ステップの意気込みは？

挙げれば切りがないが、1年頑張っってから時期が来たら考える。
まとめ 最終年スタートにあたり、また種をしっかりと成長させ確かな収穫に向けて取り組んでいただきたい。そして第6次総合計画目標実現に向け、次期への足掛かりの年になる事を期待します。



高橋廣美 議員

多様な農業への支援体制は

答 農業ビジョンの中で多様な農業について策定中

問 真に足腰の強い地域農業を確立するためには、多種多様な農家（家族経営から大規模農業法人まで）が混在する裾野の広い農村を作る必要がある。ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の上昇など取り巻く環境は今後益々厳しくなる、各家庭においてはいかに生活防衛をするかという議論が沸き起ると予想される。次の提案をする。

- 1 新規に農業に参入する人の支援（農業塾のような）
- 2 指導する農家さんへの支援
- 3 新規就農者のために耕作放棄地や圃場整備の一部を提供する

産業振興課長 農業ビジョンの中に多様な農業は重要と捉え、家族経営、半農半X、小物野菜生産者に対応すべく、「農業塾」に近い研修制度を考え、新規就農者の育成に努める。

村長 小規模農家の育成の点で、野菜バスなどの流通システムを考え、



広がるそば畑

特徴ある野菜の産地化を目指す。

朝日村の森林資源の活用について

問 朝日村の森林資源を見直すための啓発活動が必要では。

答 林業従事者の育成、秋の育樹祭では小学生に参加してもらう。

問 地域林政アドバイザーの役割はどうするか。

答 職員による対応とし、林政研修への参加、県の指導を得ながらその役割を果たす。



林 邦宏 議員

専決処分・大尾沢導水管復旧は

答 消防ホースをビニールホースに変え14日復旧は終了した

問 大尾沢第二水源から浄水場への導水管に不具合が発生し、断水の危機が朝日水道に発生した。

2月17日夜消防幹部団員に招集が掛かり「仮復旧対策会議」が開催され18日仮導水管の敷設作業が36人の消防団員の出勤で実施され、断水の危機から逃れ得た。仮導水管敷設は第二水源から600m下流の接合槽から100m位のビニールホースで林道まで引出し林道脇沿いの最短距離で、各分団から借り受けた20本の消防ホースの接続で、浄水場まで仮敷設されていた。

行政では、6日後の24日に350万円の補正予算を計上し専決処分を執行した。議会には一切の情報提供が無く、3月3日配布の3月定例議会の議案書で、専決処分が執行された事を知った。

8日からの定例議会の協議の席で「即日議決で執行すれば」との詰問に対し緊急を要したと答弁。

しかし、協議する時間的余裕は充分あったのに、と解釈している。

私は導水管不具合事故の情報を得て2月27日、現地視察を致しました。

①色取り豊かな消防ホースで仮配管されていたが、衛生面ではどのような処置をされたか。

答 通水でホースのごみなどの洗浄を実施した後配水池に接続した。

意見 飲料水であるから、次亜塩素酸Naで消毒すると、大腸菌・サルモネラ菌・黄色ブドウ球菌などの除去・消臭効果が期待できる。

問 ②仮導水管内の水量は少く内容積の1/3位の事象はどうか分析されるか。

③第二水源・左側沢水量は仮導水管内の水量より多い、第二水源の取水機能と600m下流の接合槽までの配管の状態はどのように思われるか。

答 渇水期であり、例年より寒さも厳しいので、取水量は低下している。

取水機能や配管は4年以上経過しているので、経年劣化なども考えられる。

問 ④ライフラインの飲料水4月からの水道料金10%の値上げ、肝心な安定した水源確保のため、更新ではなく北村地区は辺地債を有効活用可能であるから公共水道設備を新設する方向で対応されると、費用負担も軽減され、湧水利用で安全な水道行政になると思いますが。

答 第二水源を含め専門家による、根本的な調査を実施し対応する取水設備の新設提案は即実施は不可能であるから、現設備をうまく使いながら最良策を探っていく。



中村文映 議員

村のごみ処理の基本方針及び 取組姿勢は

答 事業統一に向けて関係市村と検討を進める

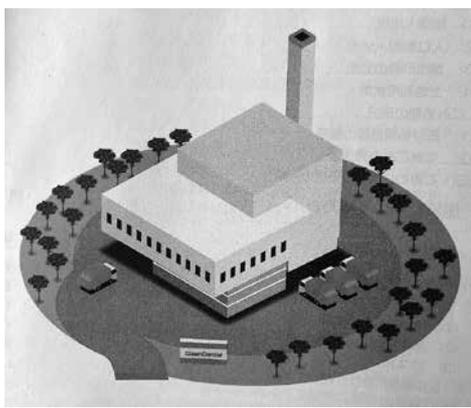
問 令和11年に松本クリーンセンターにかわる「新処理施設」が建設されるが、現在、市村によりごみ処理費の住民負担（ごみ袋の料金）に違いがあり不平等と思うが、村はどう考えているか。また、事業の統一を進める考えはあるか。

答 生ごみのたい肥化事業の取り組みは。
建設環境課 先進地視察を行っている。現在小学校の生ごみはたい肥化を行っている。処理業者との話し合いや収集方法の検討を行い、事業化出来るか検討していく。

村長 ごみをたくさん出す人に自分の負担をお願いするほうが平等と考える。
建設環境課長 ごみ袋の有料化はごみの減量に繋がっている。徴収したお金はごみの運搬等に充て村負担金の軽減になっている。しかし、今後は事業の統一に向けて4市村の連絡会議で検討していく。

問 今後の最終処分場についての考え方は。
村長 約束はないが次回は塩尻市にお願いしたい思っている。
建設環境課 最終処分場は取り決めて塩尻市と当村で設けることとなっている。塩尻市とは担当課レベルで継続的に話し合いを行っている。

問 生ごみのたい肥化事業の取り組みは。
建設環境課 先進地視察を行っている。現在小学校の生ごみはたい肥化を行っている。処理業者との話し合いや収集方法の検討を行い、事業化出来るか検討していく。



松本クリーンセンター

問 新年度松枯れ対象木が増える予想されるが対策と教育は。年を追うごとに、松枯れが増えていく。新年度は本当に大丈夫なのかと心配だ。令和3年度は96本の処理で、前期30本、後期66本だが、マツノマダラカミキリの羽化の前と後では駆除対象木は次年度に大きく影響をする。令和4年度は何本位の駆除を考えているのか、その駆除方法はどのようなのか、駆除従事者の確保、教育は、またドローン等の精度アップと目視者の教育は。早期発見と早期駆除は必須条件だと思ってお考えを聞きたい。

課長 場所に対応した駆除方法と、教育を高めたい。
問 駆除対象木は120本位と考えている。その駆除方法は1000m以上と従来の所では伐倒燻蒸で、また鎖川左岸の一部と古見横出ヶ崎の一部は、対象木以外も含めた周辺木を
JA店舗なき後の対応は
問 代わりの施設とか、販売方法、高齢者の居場所作り生きがい作りは考えられないでしょうか。
ファミマも有り難いのですが、JAの生活店舗には、ジャンルの異なる品揃えもあり人口4000人以上の村として、住宅だけでなくショッピング店ももう少しあってもいいと思うが、いかがか。近隣のショッピングセンター利用なら交通の便の更なる充実必要と思うがいかがかお聞きしたい。
課長 考えていない。
まずはJAと相談してもらいたい。その上で例えば、空き店舗を村内の起業家がかかり、商品販売をするとかするの、良い事だと思えます。村も近隣市村とも協力して、広域の交通の便の充実を図り、地域住民の利便性を高めていくよう、検討を進めているところです。



赤松の感染木



小林弘之 議員

医療の充実と 通院のための公共交通の充実

【答】医療の確保と村外へ直通交通手段の検討

問 朝日村第六次総合計画の基本戦略「安心して暮らし続けられる村をつくる」主要施策「保険・医療の充実」等で本村では、医療機関や従事者の不足が課題となっている。アンケート調査では朝日村から移転したい理由として医療機関への通院の不便さを挙げる人が44.9%となっており医療機関の充実や通院のための公共交通の充実が求められています。現在、朝日村では一か所しか診療所が無い当村では危機感を感じているのか？医療機関を増やす事については必要であると思うのか？

住民福祉課長 現在、近隣に診療所が増え受診することができている救急医療など松本医療圏域で連携体制がとれており適切な医療が受けられている状態である。従って一か所の診療所、医者で良いと考えている。しかしながら危機感を感じている。懸念されている課題として朝日村の開業医は既にサラリーマンの退職年齢を超えていることから今後開業医が変異した場合に村に診療所が無く

なることが想定される。

近い将来、医療体制の確保については早急に手を打たなくてはならないのは事実。今年には朝日村医療体制検討委員会を開き、より深く研究と検討を重ね新規開業医、又は村直営診療所など可能性を導き出し関係機関に働きかけ始めていく予定です。

問 医療機関の通院のための公共交通の充実は何？

企画財政課長 現在、村外の医療機関への交通手段は村営バス広丘線、デマンドタクシーも近隣市村の共用交通、また民間の路線バスに接続して村外の医療機関への交通手段を確保している状況。接続している箇所は4か所。そこで5つの交通機関と接続を図っています。

昨年8月策定した「松本地域公共交通計画」により現在の交通形態の見直しを図るとともに高齢者の皆様の買い物、通院の交通手段として新たな路線バスの運行について来年度検討を行っていく計画であります。



塩原智恵美 議員

朝日村教育行政の現状と課題

【答】全てはこれから研究・検討

一般質問は次の3点に集約して教育長の見解をたどした。

問 入三分館の課題に対する社会教育委員会の答申を受けて、分館再編成をどう方向付けしたか。分館運営が難しくなっていると聞く。これまでの社会教育の方針に課題はなかったか。というのは、根本となる教育振興基本計画（全国の83%策定済）と生涯学習基本計画（県下77自治体のうち66策定済）はいずれも朝日村未策定。生涯学習基本構想の見直しもされていない。

教育長 生涯学習基本構想は平成13年度策定したもので20年以上経過。令和4年度は研究し令和5年度見直す。2つの計画の策定は努力義務の為に早急に作る必要はないが検討する。分館再編成は令和4年度に「公民館あり方検討委員会設置して議論深める。」
問 保育園で昨年4月採用した3人の保育士が1人退職、2人は療養休暇となり職員が育っていない。原因は職場環境にあると外部有識者から指摘を受けた。原因と改善策は。このことは教育委員会に報告したか。

教育長 1名は復職。大きな責任を痛感している。検証はした。新年度からはサポート体制強化と情報の共有、職員間の信頼を構築して組織強化を図る。教育委員会の報告はこれからする。

問 村の社会教育行政を進めるための基本は、社会教育の組織及び運営に関する法律を理解することである。6年前に抜本的改正があり「教育長」の任命を始め、職務・資質などが明確化された。また「教育委員会」の委員による、教育長のチェック機能強化や会議の透明化が明確化された。現状の会議のあり方と情報の公開はどうかか。

教育長 教育委員会会議録は公表に努めているが、少ない職員体制が原因で遅れている。「教育の執行状況の点検評価」はこれから公表する。

要望 教育委員会は教育行政の重要事項や基本方針を決定する執行機関である。教育長は、教育委員会の機能が十分発揮できるように会議の環境づくりや研修の機会などを御配慮いただきたい。



羽多野美映 議員

今後の情報発信の在り方は

答 媒体の整理をし、効率的な運用を図る

問 朝日村は、様々な手段で情報発信している。あらゆる受け手を想定し、誰もが手軽に情報を手に入れる方法と、安定的な情報発信ができる環境整備が必要と考えるがいかがか。

企画財政課長 現状分析を行い情報発信ツールの選択と整理を進める。広報などは村民の知りたいこと、行政の伝えたいことを特徴のある方法で提供できるように検討する。

村長 媒体が多いため、何を選択するかわからなくなっている部分がある。より具体的に発信する方法を模索する。HPの村長の部屋のコンテンツは、こういった情報を発信するかを今後検討していく。

副村長 議事録の更新が遅れることがある。ソフトの活用や課内での職員の兼務を解消し、負担を減らして安定的に更新するよう、できるだけ早く対応する。

投票率向上の取組

問 当村の投票率は東筑摩郡内では常に最下位である。次の点で考えと

取組について質問する。

- ① 投票率上げるための取組は
- ② 若い世代への周知活動と啓発活動
- ③ 移動投票所の設置検討は
- ④ 公開討論会の推進活動

選挙管理委員長 低投票率は残念で深く憂慮している。①有権者宅への選挙入場券の発送、告知放送、村HPでの周知②18〜20歳をターゲットに立会人の公募。成人式での呼びかけは18歳選挙権引き下げ以降中止。小学校へポスターコンクールへの参加呼びかけと投票箱の貸し出し、出前講座は教育委員会と模索中③人員確保、設備等の問題あるため予定なし。投票機会確保の観点から、一案として検討の可能性。④選挙管理委員会として告示前からの推奨はできない。

教育長 コミュニティスクールの仕組みを進め、村への意識を高めるための取組を模索する。

意見 充分な答弁得られず。社会活動、教育活動において重要な課題である。以後積極的な取組を行うべき。



高橋良二 議員

移住婚事業で都市部の男女は来村しているか

答 一人が来村している

問 オンラインの開催のため、朝日村の移住婚事業、都市部の男女に移住先と結婚相手を同時に紹介する。昨年10月から1月下旬までの約4か月で県外から18人の申込みがあった。一方、村内からの申込みはたったの4人です。県外から申し込んだ18人は東京、神奈川、大阪などの20歳〜49歳で、女性15人、男性3人との事です。スノーボードや登山が好き。自然を感じながらパートナーと生活したい。移住生活は独りよがりパートナーがいた方が楽しそうといった理由です。一方、村内からの申込みは30代〜40代の男性4人。成立したカップルはまだないとの事です。

そこでお尋ねします。都市部の男女18名は村内に来たことがあるのでしょうか。また、来たとしたらどのような感想を持ったのか、どのようなイベントを行ったのかお聞きします。

企画財政課 一般社団法人日本婚活支援協会の移住婚サービスの受け入れは全国7市町村で、県内では朝日村、山ノ内町、駒ヶ根市。朝日村では、結婚相談担当の地域おこし協力隊の信時さんと紹介を取り合っている。現在は24名の登録がある。そのうち、神奈川県の女性朝日村を訪れている。



はじまります！ 他自治体での紹介実績は 全体で103名

朝日村へ来たい！住みたい！と考えている方々が
いらっしゃいます。
その方たちのご縁を繋いでみませんか？

朝日村出会いサポートセンター結日musubiパンフレットから

議会 改革

開かれた議会を目指して 議会改革その一歩!!



議会モニター定数見直し

議会モニターを設置したのは昨年6月でした。

村民と議会が少しでも近い存在になるために直接声を伺い、村民目線の仕事をするのが議員であり、議会であるとの思いからでした。これまで10名のモニターの皆さんからそれぞれの立場で議会や議員を始め、村の対応まで広範囲にわたってご意見をいただき、行政に、議会に関心を持っていただきました。

この2月執行の村議選の補欠選挙にモニターのお二人が立候補をされました。この事はモニター会議の

存在意義があったのではないかと思います。

モニター会議の様子は、会議録を作成して議会ホームページで公表しております。是非御覧ください。

議会運営委員会では、来年4月に統一地方選挙を迎えることから、より多くの村民の皆様に関心を持っていただき、御意見をいただくために定数を見直し、これまでの10名から15名以内としました。是非御応募ください。お待ちしております。

議会運営委員長 塩原 智恵美

「議会モニターって一体なに? 兎に角、傍聴すりゃいいんでしょ?」てな訳でまあお気楽に構えてはいます。客観的には程遠く、全面主観で話聞いてりゃいいのですからね、御用とお急ぎで無いお方、お試しにモニター如何ですかね?

案外ね頭白けりゃ尾も白いですよ。

Y・Yさん

議会モニターの委嘱を受け、今年度の議会の傍聴をし、開かれた議会とするために尽力されている議員の皆さんの活動を知ることができました。

コロナ禍もあり、村民の声を首長に届ける議員の役割はますます大変な状況であります。これからは議会における「議論する力」を向上させて、全国から視察が殺到するような斬新な地方議会改革を実行してほしいと思います。

N・Kさん



モニター会議 会議録



モニターに 参加して 一言!!



行政と議会は車の両輪と言われ、地域の発展、住民の幸せを願って、さまざまな意見交換が行われます。

3月の山形村議選が無投票となったように、最近、町村議員のなり手が少ない事から、モニター制度を積極的に取り入れ、今回の補選でモニター女性が見事に当選するなど朝日村議会はとても素晴らしいです。

近隣町村で池田町は一昨年以前から取組むも現在まで軌道に乗っていない。木曾町では今のところ募集人員に満たないそうです。(3月29日現在)

モニターは議会の義務ではありません。

M・Nさん

定例会だけでなく全員協議会や各委員会の傍聴をさせていただきました。

その中で、いかに議会・行政にお任せをしていたかを感じました。

議会・行政側からの発信は当然必要ですが、村民側も関心を持たなければならないと思います。若い方々も、いずれバトンを受け継ぐ世代として、早くから関心を持つ必要はあると考えます。

M・Sさん

議会活動日誌

1月

- 4 火 朝日村新年祝賀会
- 9 日 朝日村成人式
- 10 祝 朝日村消防団観閲式・感謝状贈呈式
- 12 水 村議会全員協議会・議会運営委員会
議会モニター会議
- 27 木 議会常任委員会・議会運営委員会
- 28 金 村議会全員協議会
朝日村旧役場庁舎解体工事安全祈願
- 31 月 議会だより発行日

2月

- 4 金 松塩地区広域施設組合議会議会運営委員会
- 9 水 村議会全員協議会
- 14 月 松塩地区広域施設組合2月定例会
- 16 水 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定例会
- 17 木 松本広域連合2月定例会
- 18 金 松本市山形村朝日村中学校議会定例会
- 22 火 県町村議長会第34回定期総会
- 24 木 村男女共同参画審議会・新人議員研修会(25日まで)
- 25 金 村議会議員研修会

3月

- 1 火 議会運営委員会・議員打合せ
- 8 火 村議会3月定例会本会議・村議会全員協議会
- 9 水 村議会3月定例会全員協議会
- 11 金 村議会常任委員会
- 15 火 村議会3月定例会本会議一般質問
村議会全員協議会・議会運営委員会
- 18 金 村議会3月定例会本会議・村議会全員協議会
行政視察 4P
- 22 火 村男女共同参画審議会・土地開発公社理事会
- 23 水 村行政改革推進委員会
- 24 木 松塩地区広域施設組合第2回環境保全協議会
議会モニター会議 11P
- 25 金 村防災会議
- 30 水 東筑摩郡町村議会議長会総会

議会を気軽に覗いてみませんか？ —議会モニター募集—

議会を傍聴したり、村民からの要望や提言を議会に届けていただく『モニター』を募集しています。都合のつく範囲で議会や委員会を傍聴し、モニター会議への出席やレポートで意見・提言をしていただきます。村政や議会、村の将来に関心のある村民の皆さま、是非御参加ください。

お問い合わせ・申し込み
TEL.0263-99-2001 (議会事務局)
Eメール：gikai@vill.asahi.nagano.jp

第4回モニター会議開催

議会では3月24日6名の参加を得て議会モニター会議を開催した。また、数名の方からはメールで意見を寄せていただいた。

補欠選挙の立会人をされたモニターから「村民の皆さんが選挙の機会を得て喜んで投票に臨んでいたように感じた」「是非来年の統一選挙でも無投票を避けて欲しい」との感想が述べられた。また、「女性議員が2人になって新鮮味があった」「議席が埋まり活気が感じられた」との感想や、小学校の給食無償化や高校生の通学補助について「活発な意見交換がされて良かったが、もっと多くの議員の意見が聞きたかった」「PTAの会議に出席したが、ありがたいと思っている方が多くいた。これで安定した学校給食の運営ができると感じた」。「今後一般質問をユーチューブで発信してもらえる事になったが、議会のフェイスブックも検討してほしい」「答弁する声が小さく傍聴していて聞き取りにくい、もっと元気よく発言してほしい」「採決の時の起立方法を検討したほうが良いのでは」「副村長が辞任されたが、効果はあったのか？今後も置くのか置かないのか心配になっている」など、たくさんの意見が出された。

議会では、いただいた意見を全員協議会で検討し、今後の議会活動に活かしていく予定です。

議会運営副委員長 中村文映

モニターからの提言で 議会が対応したこと！

提言 ユーチューブ配信で何時でも誰でも見ることのできる開かれた議会にしたらどうか。

対応 令和4年度予算化。一般質問で実施。見たい質問を選択できる配信とする。

提言 コロナ対策と健康維持のため、議場内でも水分補給の環境を整えたらどうか。

対応 現在は議長席に水の用意がある。ほかの議員も緊急時に対応するため、水の持ち込みを可とした。

提言 議会の言葉が分かりにくいので議会用語集を作成し、傍聴者に配布できないか。来年4月の統一地方選挙に向けて、議会だよりの紙面で無投票回避の工夫ができないか。

対応 用語解説の冊子は6月議会に間に合わせてつくる。議会だよりで選挙特集を組む。

村民の声

朝日の暮らしと仕事

農家、染織家

永井 泉さん



朝は愛猫の正確な腹時計による「ご飯くれ!!」の連呼で目が覚め、寝ぼけながらも窓を開けると聞こえてくるのは車の音ではなく鳥の賑やかな鳴き声。いつもその瞬間、ああいいところに住まわせてもらってるなと感じます。

長野に越してくる十年前には夢に描いていた田んぼと畑のある暮らし。そんな夢が朝日村に越してきた初年度から叶い心底嬉しくて、これからの田畑生活を想像し、わくわくしたのを覚えています。

それともこれも田畑を快く貸してくださり、暖かく見守ってください。近所さんのおかげで感謝しかありません。

四年前には農家となり憧れの暮らしも仕事となりました。実際には農業で食べていく厳しさに頭を抱えています。

それでも土に触れ野菜や稲が育っていく姿を目にすると苦勞も吹き飛びます。

美味しいと喜んでくださるお客様の存在、そしてこの豊かな地を後世の人にも繋げていきたいと思いつつながら田畑に向き合っています。

農業を始める前からずっと染織の仕事もしてきましたが昨年は初めて長野の地で展示会をする機会をいただきました。

今は農業に追われる日々ですが、今後は染織制作の時間も増やしていきたいと思っています。

朝日の自然や暮らしからどんな布が生まれるのか。自身でもたのしみです。



染織の作品



はざがけした稲

我がむら再発見! ちょこっと訪問

村内の施設やイベントに議員が訪問してその取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第12弾 「間登男之湯」



建物外観

地域の憩いの場を目指して!

朝日村村民が待ちに待った、村唯一の入浴施設である「間登男之湯」が昨年12月にリニューアルオープンし、4ヶ月が経過いたしました。早速お邪魔してオーナーの斉藤正光さんまゆみさんご夫妻にお話を伺いました。

間登男之湯は明治中期に創業以来約140年、古くから朝日村村民のみならず近隣市町村の皆さんから愛され親しまれて来た古来の湯であります。

昔からの建物が老朽化してしまい12年ぐらい前から休業していましたが、その間オーナーの正光さんが自ら設計施工に携わり、手づくりで旧館に隣接した場所に立派な新館を完成させ操業再開にこぎつけたとの事でありました。

写真にもあるように、浴場には浴槽と洗い場だけではなく、新しくサウナと湧水を利用した水風呂も併設されておりまして。源泉は創業時から間登男に湧き出る豊富な鉱泉を利用しており、この鉱泉の効能は切り傷や皮膚炎・リュウマチ等の治療にも効果があると言われており、風上りにゆったりと安らぐ休憩所や、10名前後の小規模な会議や懇親会などにも利用可能な小部屋もあり、屋外にはBQ設備も完備されておりまして、また、ロケーションもすばらしく、鉢伏山や高ボッチそして松塩平を一望できる雄大な景色も楽しめます。

オーナーご夫妻の経営理念は、昔から同様な村や近隣市町村の皆さんの憩いの場として利用していた事で、村の交流人口の拡大と移住定住促進事業に少しでも貢献出来たら……と抱負を述べておられました。送迎もありますので家族揃ってのお出かけください。(清沢正毅)



オーナーご夫妻



浴場全設備

新議会事務局



4月1日付け人事異動により、議会事務局を拝命いたしました。法令に沿って議会活動を支えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

議会事務局
 山本 珠明
 高山 義教
 北林 薫

編集後記

新人議員二人の紹介さわやかな風をもたらしてくれました。村民の声・ちょこっと訪問は誰にしたらいいのか。和気あいあいとした中で議論がされました。

まだまだ新型コロナウイルスの影響が残る中ですが議員全員で村政に取り組んでまいります。(高橋良二)

- 発行責任者 北村 直樹
 議長 高橋 廣美
 編集委員 高橋 良二
 委員長 清沢 正毅
 副委員長 中村 文映
 委員 齊藤 勝則
 塩原智恵美



こちらから朝日村議会のホームページをご覧ください